

学校経営計画



荻窪小学校は、開校72周年を迎え、現校地にエコスクールとして移転し、コミュニティ・スクール（地域運営学校）としての歴史も刻んできました。伝統を大切に、特色を生かし、地域と共にある学校として充実した教育活動を進め、本校の教育目標「美しい心の子ども 深く考える子ども たくましく生きる子ども」の実現を図っていきます。本校の校章はサクラソウです。サクラソウの花言葉「少年の希望」そのままに、子供たちが、主体的に学び、明るく希望をもち、たくましく育ってくれるように、教職員一同、誠心誠意努力していきます。以下の4点を重点に、学校経営を推進します。この4点は相互に関連付けながら取り組んでいくものです。

教育目標 ◎美しい心の子ども ○深く考える子ども ○たくましく生きる子ども

◇学校経営方針の4つの柱

心を育てる・一人一人を大切に・つながりを活かす・広い目を育てる



1 心を育てる

70周年キャラクター「おぎペン」（環境保全の象徴ペンギンをイメージ）

◆教育目標「美しい心の子ども」の実現に向け、人間尊重の教育「ヒューマン・ディグニティ教育」を推進します。

全教育活動を通して「心を育てる」教育の一層の充実を目指します。コロナ禍においては、人と人とが触れ合うことの大切さが再認識されました。人と人とが支え合い、思いやる心をより緊密なものにしなければなりません。各教科等の授業、学級経営、地域や家庭との連携の中で、「人にやさしく、自分も友達も大切に思う」子供を育てます。（人間尊重の教育「ヒューマン・ディグニティ教育」）

授業や生活、行事における異学年交流の実践、体験活動、地域人材の活用、専門家に触れる授業等を展開していきます。また、学校いじめ防止基本方針を基に、「いじめ防止教育プログラム」を実施します。そして、子供たちに「心のアンケート」を繰り返し実施し、気持ちを理解し、寄り添う活動を行っています。いじめ防止対策委員会を毎月開催し、いじめの認知やいじめ問題に対して組織的な対応を行っています。併せて、生活指導部や特別活動部と連携し、「人権メッセージ」「なかよし班活動」等を実施して、子供自身が、いじめのない学級・学校・社会を創っていけるように、他者を認めるあたたかさ、素直に自分の気持ちを伝える力の育成を図ります。「特別の教科 道徳」では、深く考え、話し合う授業を展開し、保護者、地域の皆様と一緒に道徳教育の推進に取り組みます。道徳教育は、道徳の授業だけでなく全教育活動の中で実践していきます。「みんなのしあわせを創る杉並の教育」の合言葉の下、共生社会の実現や国際社会の平和や発展や貢献について考えていきます。

2 一人一人を大切に

◆特別支援教育の理解を深め、全学級で特別支援教育を展開します。

すべての子供たちが安心して学べる「一人一人を大切に」教育を特別支援教育としてとらえます。どの子も「できる」「わかる」を実感する授業を各学級で展開し、特別支援教室「すまいる教室」との連携を深めていきます。保護者や地域の皆様に、特別支援教育、特別支援教室の意義や指導内容を

確かに理解してもらえよう、説明と情報提供に努めていきます。特別支援教育校内委員会を毎週開催し、特別支援教育コーディネーターを中心とし、特別支援教室専門員、スクールカウンセラー、区教委の教育支援チーム、特別支援教室指導教員、学習支援教員、通常学級支援員、介助ボランティア等と連携し、すべての子供たちを対象に、全学級で特別支援教育を推進していきます。

3 つながりを活かす

◆教育目標「深く考える子ども」の実現に向け、主体的・対話的で深い学びのある授業、小中一貫・幼保小連携教育を行います。

これからの超スマート社会（Society5.0）を視野に、学習指導要領に基づく「新しい学習」を推進します。子供たちが、自ら問題を発見し、主体的にその解決に臨み、自分なりに判断し決定していく姿勢をもてるように、授業では「学ぶ子供が育つ」をキーワードに、主体的に学ぶ子供の育成を目指します。全教科・領域において、「問いをもち、考え、話し合う」授業を展開していきます。荻小の4つの重点の「心」や「広い目」と関連付けながら、新しい学力観に基づいた学力向上を図ります。また、GIGA スクール構想により整備された個人タブレットPC を積極的に有効に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現します。同時に、地域の人材を活用した体験的な学習に取り組み、「肌感覚・心感覚」を大切にする実感を伴う教育活動を展開します。

近隣の宮前中学校、久我山小学校、荻窪小学校の3校で、「かかわり、つながり」を重視し、共に学び合う意識をもって小中一貫教育を推進していきます。義務教育9年間の視野に立った教科指導、生活指導、交流等を充実させます。また、子供園、幼稚園、保育園とも連携し、入学時からの「スタートカリキュラム」を改善実施しながら、子供たちの交流や教員、保育士の合同研修等を充実させていきます。就学前から義務教育修了までの学びの「連続性」を重視した切れ目のない指導・支援を推進します。

4 広い目を育てる

◆持続可能な社会の実現を目指す、主体的な課題意識を、本校の特色である「環境教育」を出発点に、全教育活動で展開します。

特色あるエコシステム校舎設備を活かす「エコスクール」として、「環境教育」を出発点に、持続可能な社会の実現を目指す活動を全教育活動で進めます。生涯にわたって地球環境を守り、持続可能な社会を意識して、自ら考え行動できる子供を育てます。日本建築学会や学校支援本部「荻 OGI」と連携しながら、「荻小環境習プログラム」の改善に取り組みます。今年度も杉並区「小中学生環境サミット」に参加します。

「心を育てる」学びと合わせて、時間軸で考え、今生きる人間さえよければよいのではなく、未来に生きる人間を思いやり、今何ができるのかを考え、行動する人を育てます。空間軸では、地球規模の視野をもち、グローバル社会を生きる人間の共存を考え、話し合いや協働によって平和的に様々な問題を解決できる人を育てます。



学校、地域、保護者との連携を一層深め、「共に学ぶ 共に創る みんなの荻窪小学校」の実現を図り、杉並区教育ビジョン2022に示された「みんなのしあわせを創る 杉並の教育」を目指します。

コミュニティ・スクール（CS 地域運営学校）や学校支援本部（荻 OGI）は、学校の限界を教育の限界とせず、子供たちに質の高い教育を提供し、それを継続させるための仕組みです。地域の中にある学校であることを意識し、学校と地域の人たちとのつながりを大切にする気持ちが重要です。コミュニティ・スクールである利点を最大限に生かし、かかわるすべての人々による「オール荻窪」体制で、荻窪小学校を創り上げていきます。